

浅羽学園袋井市立浅羽北小学校学校だより

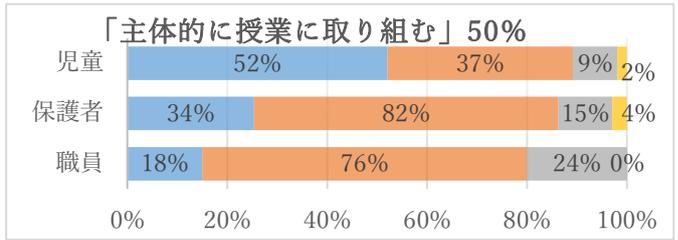
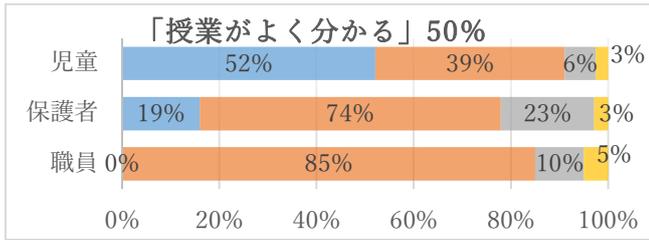
光と大地の子

浅羽北小学校 教育活動アンケート7月実施結果より

1学期末の教育活動アンケートの結果を報告します。解答結果について、心づくり、学びづくり、体づくりの3観点において、学校の各観点の数値目標に照らし合わせて説明します。

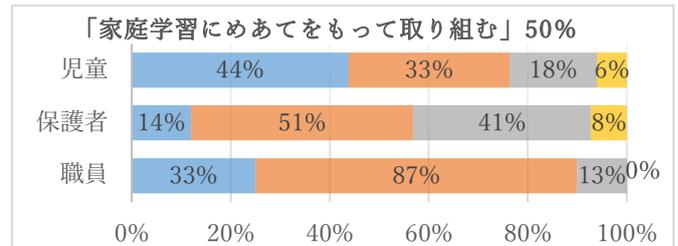
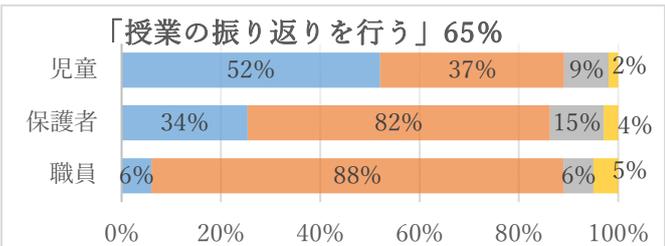
※各項目の「」右の % はグランドデザインの数値目標です。

「学びづくりについて」



☆ 昨年12月 そう思う 児40% 保22% 職0%

☆ 昨年12月 そう思う 児35% 保32% 職0%

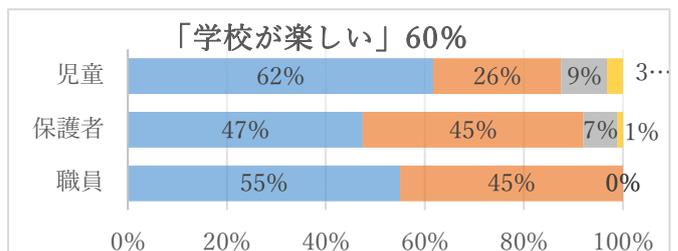
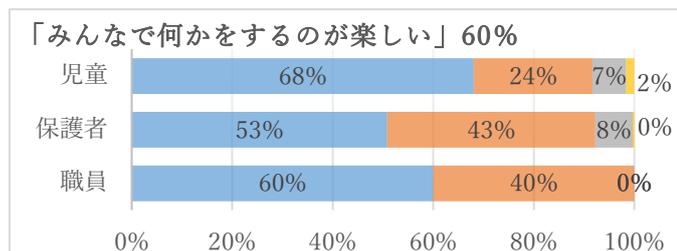


☆ 昨年12月 そう思う 児46% 保26% 職39%

☆ 昨年12月 そう思う 児38% 保37% 職11%

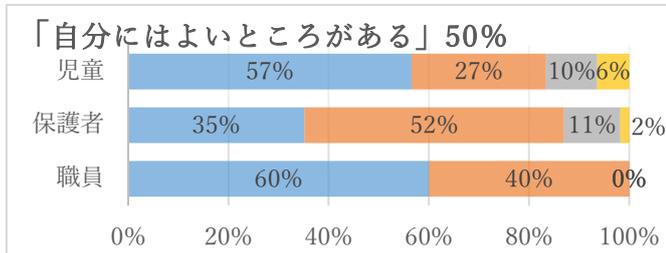
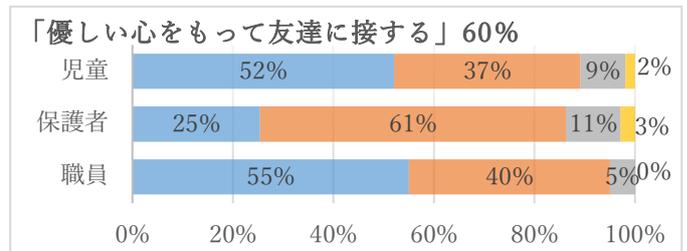
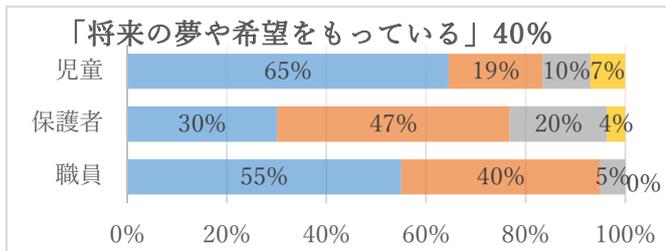
- 「授業がよくわかる」「主体的に授業に取り組む」の数値が昨年と比べ増加しています。タブレットパソコンを、授業の様々な場面で活用し、学習内容の理解や思考の整理に努めている成果が現れています。さらに、タブレットパソコンを活用することで、「情報を得る」「整理する」から一歩進んで、何かを導き出す力を育成していきたいと考えています。
- 「家庭学習にめあてをもって取り組む」の数値が昨年と比べ増加しています。自主学习ノートを活用し、家庭学習の充実を目指したり、定期的にノート展を行い賞揚したりしたことが、この結果に繋がっていると考えます。今後も引き続き、自分に必要な勉強やその習得の方法を考えさせていくことで、主体的に学ぶ力を身に付けさせていきたいです。また、学校での取り組みの様子を学年便りや懇談会などで家庭に伝えることで、学校と家庭が同歩調で子供の成長を目指しさらに家庭学習をよいものとしていきたいと考えています。
- 「授業の振り返りを行う」の数値が昨年と比べ増加しています。学習の振り返りを通して、分かったことを確認し、伝えることや、もっと調べたいことを追及していくことよさを経験させようと取り組んだことがこの結果に繋がっていると考えます。これからも、振り返りの時間を確保し、「分かった。」「できた。」といった成就感や、もっと調べてみたいといった次の学習への意欲を高めていきたいです。

「心づくりについて」



☆ 昨年12月 そう思う 児67% 保58% 職72%

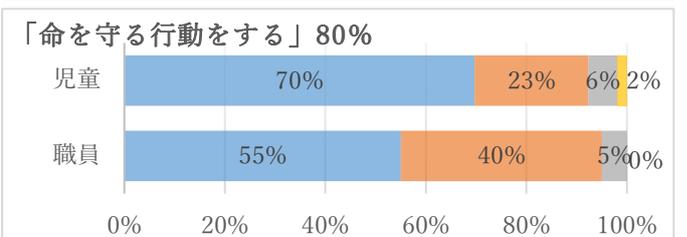
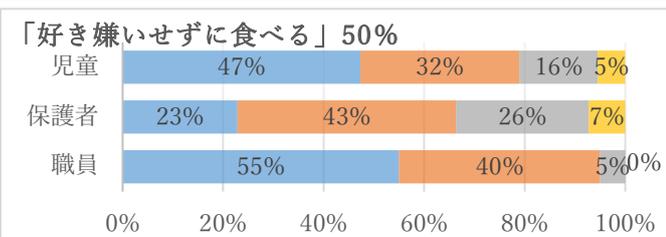
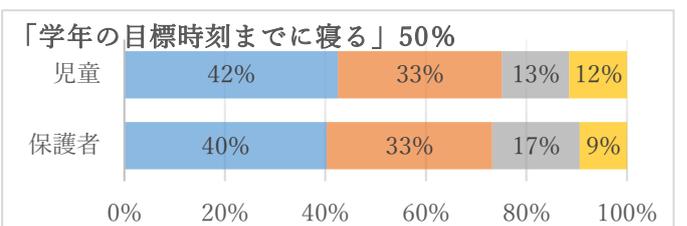
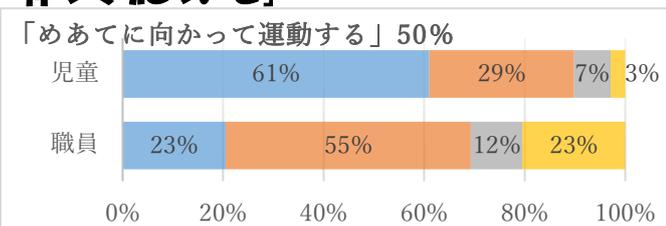
☆ 昨年12月 そう思う 児52% 保46% 職22%



☆ 昨年12月 そう思う 児52% 保50% 職22%

- 「自分にはよいところがある」の数値が目標を上回っています。自尊感情を高める言葉掛けは、本年度の浅羽学園の重点目標でもあるので、これからも、学校全体で意識して取り組んでいきたいと考えています。
- 「学校が楽しい」「みんなで何かをするのが楽しい」の数値が昨年に比べて増加しています。承認・励ましの言葉掛けを意識したこと。また、「気付き、考え、実行する」という JRC 活動の精神を生かし、自主的・主体的活動を工夫したことがこの結果に現れていると考えます。感染予防対策を意識した生活の中で、「充実した学校生活を送ることができている」と感じる子供が増加したことはとてもよいことであると思います。
- 「優しい心をもって友達に接する」は、数値に変化は見られないが、子供たちは「あいさつ」「友達への声掛け」「友達への話し方」など相手を意識した行動が少しずつできるようになっています。教師の承認・励ましの声掛けが子供たちの言動の変化に繋がっています。

「体づくりについて」



- 「学年の目標時刻までに寝る」「好き嫌いせずに食べる」の項目は、学校や家庭での基本的な生活習慣がきちんと身に付いているのかが分かります。睡眠時間について見ていくと、約 25%の児童が学年の目標時刻を過ぎても起きていることが分かります。睡眠不足は、集中力の低下や体調不良に繋がるため、家庭と学校が連携して改善していく必要がとを考えます。また、それに合わせて、スマホやテレビ、ゲームなどで睡眠時間が削られることがないよう、外部機関（スマホ携帯安全講話、メディア講話）などを活用して指導を進めていきたいです。次に「好き嫌いせずに食べる」の項目についてです。数値はそれほど低い値ではありませんでした。しかし、給食の様子を見ると、時間内に食べ終わるとか、食事の片付けや食事を終えた後の過ごし方など、マナーについてきちんと確認する必要があると考えています。今後もよりよい給食の時間を目指していきたいです。
- 「命を守る行動をする」の項目は、子供たちの安全への意識が高いことは感じられます。しかし、知識があることだけでは命は守ることができません。特に避難訓練では知識をもとに、模擬的な経験を行うことで、実際危険が迫ったときに安全な行動が取れるよう、十分な「実践力」を身に付けさせたいと考えています。また、避難訓練終了後、各教室でその日の訓練に関するデジタルコンテンツを視聴することで更に効果が高められるため、積極的に活用していきたいです。